

2019年度 鉱山研究会 経過・予定

■行事回数 ①年次大会・例会2回(可能ならば4回) ②合宿 見学会・巡検2回
③映像の会2回 ④海外文献の会10回

■刊行回数 ①『鉱山研究』95号 2020年3月発行 1回

②『ニューズレター』No. 113～随時(行事の実施日の約一カ月前までに発行)

2019年

4月27日(土) 2019年次大会・総会 13時30分～17時

会場：東京都中央区明石町区民館 参加：8人

①遠田 義則「足尾銅山、その自然と足尾町」(写真集の写真説明)

③尾小屋鉱山の歴史CD上映(村田 淳、村田弘一)

総会 2018年度運営・会計報告・2019年度運営計画・会計予算 役員選出

5月14日(火)『ニューズレター』No. 113号

(映像の会案内 ほか 付録・名簿、会計報告) 会費請求

5月23日(木) 海外文献の会 15:30～17:00 神奈川県民ホール(横浜)

6月5日～9日 MHA Marquette, MI, U.S.A.

6月15日(土) 第51回映像の会 13時30分～16時30分

渋谷区立勤労福祉会館 参加：6人

6月24日(月) 海外文献の会 15:30～17:00 神奈川県民ホール(横浜)

7月16日(火)『鉱山研究』94号発行 7月30日(火)『NL』114同時発送

7月20日(木)『ニューズレター』No. 114発行(例会案内、合宿案内ほか)

7月29日(月) 海外文献の会 15:30～17:00 神奈川県民ホール(横浜)

8月31日(土) 第?回例会 13時30分～16時30分

会場：中央区立京橋区民館7号和室 参加者：3人

報告者：① CD上映「クリーブランド・クリフ鉱山(U.S.A. ミシガン州)

② CD上映「Phelps Dodge」(U.S.A.)2005年制作)

③村田 淳「鉱山備林概論—樹種、坑木、坑道柱など」

10月21日(月) 海外文献の会 15:30~17:00 神奈川県民ホール(横浜)
11月9日(土)~10(日) 鉾山合宿 見学地:三川鉾山、持倉鉾山 参加:6人
11月18日(月) 『ニューズレター』No.115 発行(映像の会 例会、ほか。同封
(Spence、まえがき、第1章の訳文送付、郵送会員のみ))
12月14日(土) 第52回映像の会 渋谷区立勤労福祉会館 参加: ?人
12月?日(?) 海外文献の会 15:30~17:00 神奈川県民ホール(横浜)
12月末日 会報原稿締切(『鉾山研究』95号、2020年3月発行)

2020

1月25日(土) 第?回例会 13時30分~16時30分 会場:未定
報告者:①横路理紀「横路家と炭砒、鉾山」②小野崎敏「鍔と鍔煉瓦」
2月?日(水) 海外文献の会 15:30~17:00 神奈川県民ホール(横浜)
2月?日 『ニューズレター』No.116 発行(総会案内、伊豆巡検案内、ほか)
3月?日(土)~?(日) 第?回伊豆巡検 巡検先未定 参加: ?人
3月?日(水) 海外文献の会 15:30~17:00 神奈川県民ホール(横浜)
3月中旬(?) 『鉾山研究』95号発行
4月?日(?) 海外文献の会 15:30~17:00 神奈川県民ホール(横浜)
4月?日(土) 2010年次大会・総会 13時30分~17時 会場:未定 参加: ?人
報告:①40分(報告30分、質疑10分) / 1人
総会 2019年度運営報告・会計報告、2020年度運営計画・会計予算 役員選出

『鉾山研究』原稿募集

内容は鉾山に関係するものであれば、分野を問いません。お手元にある資料や研究ノートの形式でもかまいません。

原稿はできればメールあるいは電子データで村田にお送りください。その際、原稿指定という作業の必要上、必ずプリントアウトした原稿と図版を郵便で送ってください。編集者がプリントアウトやレイアウトをする手間と時間がかかりますので、必ずお願いします。

なお採否は編集担当が審査します。原稿は原則として見出し、図版を含めて10頁以内(1頁1,638字×10頁)、字数は全て文字数に換算すると16,380字以内です。ただし、長いものは必要があれば数回にわけて掲載することも可能です。

■締切:2019年12月末日 ■発行:2020年3月中旬

■問い合わせ・送り先:村田 淳 〒221-0011 横浜市神奈川区神之木台41-22

Phone・Fax:045-401-5259 メール:sunao-murata@asahinet.jp

第 52 回 鉦山の映像を観る会のご案内

丸山もとこ

前半は、NHK の人気シリーズ「ウルトラ重機」(2015 年～) をご紹介します。このシリーズは、俳優の田辺誠一さんが世界の巨大重機を訪ねるという内容で、BS プレミアムで 2015 年から毎年 90 分番組で放送されています。そして 30 分や 15 分に再編集された短い映像が、再放送に使用されています。今回は、「ウルトラ重機 30min」(全 11 回) と、「ウルトラ重機 5 15min」(全 20 回) から、鉦山で働く重機のシーンを集めて上映します。

休憩を挟んで後半は、平塚尚護さんの映像コレクションから「住友赤平思い出日記」(2008 年) 紹介していただきます。

皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】 2019 年 12 月 14 日 (土) 開場 13:00 上映 13:30～16:30

【会場】 渋谷区立勤労福祉会館 (渋谷区神南 1-19-8) 2F 第 4 洋室

【会費】 無料

【上映内容】

13:30～15:35 シリーズ「ウルトラ重機 30min」より #1 (ドイツの炭坑) , #5 (オーストラリアの炭坑) , #11 (フィンランドのクロム鉦山) . シリーズ「ウルトラ重機 5 15min」(2019 年) より #16 (ニューカレドニアのニッケル鉦山) , #18 (カナダの炭坑) , #19 の一部 (カナダの炭坑) , #20 の一部 (ザンビアの鉦山) , 計約 125 分.

15:35～15:45 休憩

15:45～16:35 「住友赤平思い出日記」(赤平写真映像資料収集会、2008 年)、約 50 分

16:35～17:00 会からのお知らせ、情報交換

※上映の順番や内容を予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ご意見ご要望のある方は、丸山 <jmrs.eizonokai@gmail.com> までご連絡ください。

例会案内

今回は北海道のいわば名門家、横路家の係累にあたる、横路理紀さんと、釜石鉱山の元社長で足尾銅山の写真師、小野崎一得の孫にあたり、鋳を直接扱った経験のある、小野崎敏さんにお話をさせていただきます。

①横路 理紀「横路家と炭砒、鋳山」

鋳山技師としての祖父、横路雅美の思い出を話させていただきます。社会党の代議士だった節雄は雅美の兄です。

東釧路炭礦および北日本美利河鋳山という二つの恐らく小さな鋳山と、ゼオライト工業株式会社を経営していたようです。現在資料を探索中で、ネットに断片的な情報があり、砂金をふるいにかけるが如く細かな足掛かりを探しています。「祖父は孫の私を可愛がってくれました。夏休みは化石を取りに行った思い出がある」そうです。

②小野崎敏「鋳と鋳煉瓦」

鋳とはスラグを意味し、製錬にともなって熔融した金属から分離して浮かぶカスのことで、製鋼スラグは鋼滓で、非鉄精錬で鋳という。鋳山ではたくさんの鋳から煉瓦に成形され、旧鋳山や周辺の地域で色々な用途に使われた。それぞれの製錬所や製錬方法によって、その成分に違いが認められる。

鋳は色々なことに利用されていた。足尾では建造物や住宅の土台・擁壁、尾小屋では倉、土手の土止め、持倉では鋳業施設、鋳山事務所の土台や壁に使われている。鋳煉瓦の製造工程と用途についてお話させていただきます。

■日時：2020年1月18日（土）13時30分～17時

■報告：①横路 理紀「横路家と炭砒、鋳山」

②小野崎 敏「鋳と鋳煉瓦」

■会場：京橋プラザ区民館 東京都中央区銀座1-25-3 電話；03-3561-5163

■問合せ先：村田 淳 221-0011 横浜市神奈川区神之木台41-22

電話：045-401-5259 メール：sunao-urata@asahinet.jp

海外鉱山文献読書会の案内

テキストは、鉱山史の分野で著名なクラーク・C・スペンスの代表作の一つで、19世紀後半の英国人によるアメリカの鉱山への投資について書かれています。

英語の勉強がしたい方、鉱山の国際会議や海外の鉱山に関心のある方、一緒に英語を勉強しませんか？ 英語が苦手という方こそ奮ってご参加ください。

関連する話題を話し合うこともしますので、翻訳の担当をせずに聴講するだけでもかまいません。

【テキスト】 Spence, Clark C. *British Investments and the American Mining Frontier, 1860-1901*. University of Idaho Press, 1995.

【日時】 12月中（月）15時30分から約1時間30分

【会場】 神奈川県民センター9階、NPO談話室（JR横浜駅南西口徒歩5分）

【参加費】 無料

【テキスト】 自分で用意してください

【ウェブサイト】 <http://www.jmrs.sakura.ne.jp/reading/>

【連絡先】 村田 淳 電話：045-401-5259 メール：sunao-murata@asahinet.jp

【注意事項】 参加希望者は必ず事前にご連絡をください。

* 「第5章」と「まえがき」「第1章」の仮訳文をメールアドレスをお持ちの会員にはすでにメールでお送りしました。メールを使用していない会員のみ、『ニューズ・レター』115号に添付して後2文をお送りします。

例会報告者の募集

例会の報告の持ち時間は、研究大会が報告20分質疑応答10分に比べ、報告約1時間、質疑応答30分と十分に時間があり、じっくりとまとまった報告が可能です。

テーマは鉱山に関係があるものであれば分野を問いません。金属鉱山、石炭鉱山、経済史、民俗、労働史、労働運動、あるいは鉱物、鉱床など様々な分野からの報告が会員の研究に役立つでしょう。

報告は非会員でもかまいません。また報告してほしいテーマや人物があれば、お知らせください。

* 問い合わせ、申し込みあるいは報告可能な人の情報などを、村田淳が役員に連絡をください。

第 15 回伊豆鉾山巡検案内

今年度も一泊二日で予定しておりますが、日程や見学場所はまだ決まっておりません。

日程は3月中の見込みです。

見学場所や日程のご希望があれば早急に村田淳にお知らせください。

案内の伝達方法の変更のお知らせ

経費削減のために、例会、映像の会、合宿などの案内内容の変更がある場合は、メールが利用できる会員には、その案内はメールのみで郵送はしません。郵送を希望する場合はその旨を村田 淳に連絡してください。

メールを利用していない会員には郵送します。

『ニュース・レター』や案内をメールのみでかまわない会員は申し出てください。2年以内に会の財政が逼迫することが予想されますので、ご協力をお願い申しあげます。現在1名の申し出があります。

*以下の寄付をいただきました。ありがとうございます。

研究会の会計に繰り入れました。

2019年 6月15日	映像の会	1,424円、
8月31日	例会	800円
	合計	2,224円

会費滞納と会員資格についてのお願い

会費を3年度以上滞納の場合は、退会の手続きをとらせていただきます。

2020年4月の総会後に実施します。

会員を継続する意思のあるかたは至急会費の納入をお願いします。あるいは退会を希望するばあいは、齋藤和美または村田淳にその旨を連絡してください。

滞納のないようよろしくお願いいたします。